

平成 27 年度 前期クラス代表懇談会・事前アンケート集計

I. 共通教育の授業全般について

1. 今年度の履修登録の方法や時期に関して問題があれば、自由に書いて下さい。

- ・説明が不十分。
- ・基礎セミの内容が分かりにくかった。
- ・新入生に対して不親切な感じがします。初見では自力で履修登録できません。
- ・同じ学部学科の履修登録の具体例が欲しかった。
- ・合格が決まったらある程度授業を組んでおくよう指導していただきたいと思います。入学オリエンテーションの後焦って授業を組むことになりました。
- ・履修登録するのに、シラバスを参考に、単位を計算しながら授業を選んだが、未だに、自分が卒業要件を満たしているか不安です。
- ・KOAN に登録するとき、卒業するのに、あとどの分野で、何科目何単位必要か 画面に表示してくれると助かります。
- ・第 1、第 2 希望を落ちて、受けたくない授業をとったことがあります。
- ・新入生に対して不親切な感じがします。初見では自力で履修登録できません。
- ・説明が非常にわかりにくい。
- ・情報が足りない。
- ・表が見にくい。
- ・先輩の例が欲しい。
- ・どれだけ単位を取る必要があるのか、表だけではわかりにくい。
- ・登録時に授業の定員が 999 人になっていたが、はじめから正確な数字を出してほしい。
- ・シラバスが検索しづらい。
- ・どのセメスターまでにどの単位をとればいいのかわからない。(第二外国語など)
- ・「履修の手引き」に、履修登録のいくつかの一般例をだしてほしい。
- ・「単位」の考え方が入学当初は理解しにくい。
- ・履修指導を受ける前に基礎セミナーをきめなければならず、考える資料や時間が少ないと感じた。
- ・履修の取り消し期間を長くしてほしいです。
- ・共通教育科目に関して、履修登録を決定する前に、履修を希望する生徒に対して各講義の第一回目を実施し、その講義の後に履修登録を締め切してほしい。
- ・講義内容に関してはシラバスである程度把握できるが、実際の講義に出てみないことにはその様子は理解できない。第 1 回目の講義を履修登録前に行うことで学生が自分に合った講義を確認でき、5 月にある履修登録解除を行う生徒は減少するのではないか。
- ・第 1 回目の講義から参加した学生には、成績評定に加点ないし優遇があると、学生の講義の参加に対する意欲も向上するのではないか。
- ・履修登録の際に先輩等から単位が楽に取れる授業の情報を聞きそこに履修者が殺到してしまうことはよくありますが、本当にその授業を受けたい者が履修できなかつたり、意識の差が出たりすることは問題だと思います。

- ・新入生向けのクロバスの販売を取りやめてほしい。
- ・シラバス閲覧用の Web ページの文字が小さく、見つらなかったです。
- ・各学部で履修可能な授業のシラバスのみ閲覧可能になればシラバスを検索する手間が省けて良いと思います。
- ・日程をサークルオリエンテーションとかぶせるのをやめてほしい。
- ・初年度で大学生活のイロハも分からない生徒に対して、履修の手引きをポンと一冊渡しただけでは、自らの学業を大きく左右する「履修登録」へのカバーが少ないように思われる。説明会やシラバスの冊子を配布するなどの十分な情報提示を行うべきではないか。履修云々に頭を悩ますのは、学業の本質から外れるであろう。
- ・もっと履修登録・取消をフレキシブルにすべきである。例えば、3 回目の授業をむかえるまでは、各履修登録や取消が自由に行えるようにするなどが必要である。
- ・教職についての説明があった翌日に履修登録を行わねばならないのは非常識である。
- ・授業開始前に登録が行われるため、シラバスのみでの情報しかはいつてこないのは辛い。
- ・基礎セミナーの登録が複雑なのに、登録期間が短すぎる。
- ・履修の取り消しなどが出来るのでまだ助かるが、履修登録の時期が早くてすこし後悔する部分はあります。
- ・履修登録そのものはできましたが、卒業に必要な単位数が大変分かりにくかったです。
- ・シラバスをひと目で見れる表がほしい。
- ・スマホのサイトにアクセス集中しすぎて見れない。
- ・安全実験法などの履修がわかりづらかった。
- ・登録の方法はあのままでいいが、時間割表の見方だとか KOAN の操作方法だとかをもっと知った上で履修できるようにして欲しかった。

2. 今年度のシラバス（冊子と web の両方）の内容や配布方法に関して問題があれば、自由に書いて下さい。

- ・Web 版のみのお話ですが、コマごとに全学部全学科の授業が参照できる機能があるとうれしいです。
- ・スペイン語だけで書かないで欲しい。（外国語学部・スペイン語）
- ・教員のデータは全員のせてほしい。

3. 共通教育の授業（講義、演習、実験のすべてを含めた教育内容や授業方法等）をこのように改善して欲しいという要望があれば、自由に書いて下さい。

- ・目的をはっきりして欲しい。
- ・単位を取りやすくして欲しい。
- ・シラバスに、授業内容（課題の形式など）をもっと詳しく書いてほしい。
- ・全学共通教育科目で、外国語学部だけ履修できない科目を無くして欲しい。
- ・プレゼンテーションに関する授業科目をもうけてほしいです。
- ・体感温度をこまめにチェックして欲しい。
- ・授業名と内容が対応していないことがあるので改善してほしい。
- ・全学共通教育科目で、外国語学部だけ履修できない科目を無くして欲しい。
- ・専攻とかぶって取れない授業が多い。
- ・木金に授業が欲しい。

- ・理系科目をもっと取りたい。
- ・一発試験が苦手という人のために、毎回小テストをするという先生がいるが、その制度を広めるといいと思う。
- ・もうすこし興味深い（面白い）授業があってほしい。
- ・数学演習 A の講義が分かりにくい。
- ・スライドを使う講義は、レジュメとして配布しない限り、またはあまりに重要度が低くない限り、cle にそれをあげるよう徹底して欲しい。
- ・選択科目があまりない。教養科目で取りたいものがあっても、必修科目とかぶっていることが多い。
- ・出席を何らかの方法で取らないと、出席している人としていない人との評価が平等でないと思います。また、授業が始まって出席表に名前を書いてすぐに帰る人が生まれる状況も納得がいきません。
- ・授業中に常に私語を話している人がいます。確かに大学の授業は高校のものとは違うのかもしれませんが、迷惑をしているとの声をよく聞くのでその取り締まりをして学ぶ姿勢を徹底していただきたいと思います。
- ・自習用に解放する教室を増やしてほしい。
- ・学習のために試験の過去問題を配布してほしい。
- ・キャンパス移動のことを考えて、休み時間を少し長くしてほしい。
- ・できる限り先生はピンマイクをつけてほしい。
- ・小テストなどの割合を増やして、期末テスト一本勝負を避けてほしい。
- ・外国語や数学などの基礎知識を身につけることが目的の授業は授業を動画で配信するべきです。
- ・各授業に配置される TA の教育。スポーツ実習の、当日の授業会場などの連絡の円滑化。
- ・線形代数の黒板が早い。国際コミュニケーションの発音がわかりにくい。
- ・クラスの人数が多すぎて先生と意見交換するチャンスがありません。取り消しの期間が短いです。
- ・もっと文系科目を増やしてほしい。生物選択者の物理は無くして欲しい。
- ・特に広くもなく、段差もない教室（C102 など）では後ろに座るとかなり黒板が見にくくなります。
- ・時計を見ずに延長する教員がいる。
- ・レポートをもっと短く。出席をとるな。
- ・専攻に対して共通教育に割かなければならない時間が大きい。
- ・学長や副学長が教員の授業を見学する機会を設け、学生にわかりやすい講義を目指すようにして欲しい。
- ・理系の一般教養の授業はなくすべき、あんなもん文系だけでいい。

II. 学修・学生生活支援などについて

1-1. 全学教育推進機構では新入生用の冊子『新入生ハンドブック』を配布しています。① 冊子の有用度を 5 段階（5 が最高、1 が最低）で評価して下さい。また、② 冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点について自由に書いて下さい。

5: 5 人

- ・大阪大学について知らない事が多かったので役に立った。
- ・レイアウトが読みにくい。
- ・内容を学生が知りたいことにしぼって書いたほうがいいと思います。

4: 13 人

- ・ハンドブックは施設の名前や場所がわかってよかった。今も分からないことがあると見る。
- ・新入生ハンドブックは、大学に関しての情報が一冊に集約されている点を使いやすくていい
- ・大学生活の各種手続きや留学のことなど多くの人が必要とする情報が載っており、必要な場面は多々あるように感じられました。
- ・大学生となり、気をつけなければならないこと等がしっかり書かれていて参考になった。

③：26人

- ・入学当初は生活準備に忙しすぎてあまり詳しくは読んでないが、読み物としては面白かった。また、履修登録が不安過ぎて他の情報まで吸収できなかった。
- ・少しでも情報が多いのはよいことだと思うのでありがたかった。
- ・他に配られた生協の冊子などと同じ内容が書いてあることが多い。
- ・ページ数が多く、重要な部分がどこなのかわかりにくい。
- ・過去の配布物と重複した情報が多すぎて読む気にならない。
- ・履修について充実させて欲しい。

②：14人

- ・なくてもいいしあんまり…という感じです
- ・実際に使ったのが入学当初のみで、現在必要性を感じていません。
- ・一回、目を通して処分してしまったので大して役に立たないことしか書いてなかったのだと思います。しかし、下宿生には有用である点もあるかもしれません。

①：6人

- ・読んでません。
- ・内容を記憶していません。
- ・見ていない。

1-2. 全学教育推進機構では新入生用の冊子『阪大生活』を配布し、学生生活についての情報提供をしています。

① 冊子の有用度を5段階（5が最高、1が最低）で評価して下さい。また、② 冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点について自由に書いて下さい。

⑤：4人

- ・先輩の体験談は特に阪大での生活をイメージするのに助けてくれました。
- ・地図や施設の営業時間など、阪大での生活に欠かせないことが全て盛り込まれていたのもとてもありがたかった。

④：12人

- ・阪大生活は色々な過ごし方がることが分かり、参考になった。
- ・阪大生になっての生活がどのようなものなのか、雰囲気だけでもつかめたのでよかった。
- ・「新入生ハンドブック」「阪大生活」はともに有用な情報が書かれているが、それらをすべて読んだ学生は少ないのではないだろうか。しかし、何か困ったことが発生した際にこれらの冊子を保管しておく、解決方法を知ることができるので、役立つ冊子であると感じる。
- ・面白いが、内容が大学生活に直結しているとは言い難いので生かせない
- ・ピンポイントに欲しい情報が得られてよかった。

③：27人

- ・大まかに阪大の施設について書いてあり、Q&Aなどもあってわかりやすいとは思いましたが、自分の周りの人は実際に使う施設に関しては行って確認し、それ以外の施設に関しては見に行く余裕が無いようでしたのであまり読んでいない人がいなかったように感じられました。
- ・新入生ハンドブック同様、新しい生活に向けて不安が大きい中、少しでも情報があるのは良いと思う。
- ・他に配られた生協の冊子などと同じ内容が書いてあることが多い。
- ・すこし大学のことがわかってよかったです。
- ・入ってからどんな生活だろうと、入学時にはおもしろかった。
- ・一回、目を通した後、全く読んでいませんが、何かあったときは役に立ちそうです。

②：12人

- ・直接有益になると思われないインタビューが多かったように思う。

①：6人

- ・読んでません。
- ・知らない、このカラー冊子をシラバス表にして欲しい。

2. 新入生が大阪大学での学生生活を始める際に、どのような情報や支援があれば、阪大生としての生活に慣れるために役立つと思いますか。できるだけ具体的に答えて下さい。(授業や学修に関することに限りません)

- ・阪大坂が長すぎる。
- ・大学周辺の病院などの場所を教えて欲しい。
- ・自分のとりたい授業の希望を聞いて、一緒に登録を手伝ってくれる先輩が欲しい。
- ・テスト対策の情報。
- ・先輩の履修登録や学生生活の本音を聞きたい
- ・サークルや部活生のことは書いていますが勉強に対して真面目な方の意見を知りたい。
- ・学生が将来への計画をたてるためにも、サークルを通してではなく、上の学年の先輩方の話を懇談会のように聞くことができるチャンスがあってもいいのではないのでしょうか？
- ・学食のメニューを紹介。
- ・もっと気軽に質問できる場所を設ける。
- ・コンピュータの使用方法 (Word, Excel など) についての支援。
- ・1回目の授業の時に、場所がわかりにくく戸惑ったことがあったので、部屋の場所を検索出来るようなシステムが KOAN にあれば便利だなと感じた。
- ・具体的な科目のとり方などを教えてくれれば良いと思います。
- ・履修登録の方法をもう少し詳しく教えるという支援がほしかった。
- ・ひとり暮らしをするにあたって最低限必要な手続き (生協関連、水道などの公共料金支払いなど) といった情報。
- ・先輩たちの履修登録例や生活の流れなど。
- ・新入生が質問をメールで直接どこかに問い合わせ、それを誰かが回答するような仕組み。
- ・履修登録の説明会→一般教養、必修、選択必修の説明、単位の取り方など。
- ・下宿の人なら先輩達がどのような生活を送っているかが分かるとよい。

- ・履修登録の方法が、まだまだ分かりにくい。履修登録説明会で学部全体に説明するのではなくもっと細かくグループを分けて説明してほしい。また、通常授業が始まってからの食堂の混み具合などの説明があってほしい。
- ・下宿生の1ヶ月の平均の出費とその内訳。
- ・下宿先の地域の説明(柴原、石橋、箕面など)。
- ・大学生活が始まる前に行われる大学全体ないし学部別の交流会や懇談会の回数を増やしてほしい。受験終了後の3月末には、予定の多い新入生も多い。そのため、参加の意思があったにも関わらずやむなく参加を辞退した方も多かったのではないだろうか。(実際、私も参加しようと思ったが、部活等の都合により参加できなかった。)これらの問題に関して大学側に非があるわけではないのだが、このような企画の回数を増やしていただけると大変ありがたい。
- ・授業に関しては、授業が実際に始まる前にどのような講義が行われるのかについて実際の映像を放映するなどして示すことは役立つと思います。また、下宿を始める学生が多いので阪大周辺のホームセンターやその他有用な店舗を大々的に示すことも良いと思います。
- ・より詳しい履修の説明。
- ・入学前からはじまるカルト集団の勧誘に対する注意喚起(履修自主説明会など)。
- ・生協などの、有事の際に相談できる窓口をより詳しく、頻繁に知らせて頂けたら良いと思います。
- ・A4サイズのキャンパスマップがあれば、初回の授業の講義教室を簡単に把握できます。
- ・第二外国語の学習に役立つ参考書の情報があればよいと思います。
- ・履修ならシラバス、行事なら〇〇という風に細分化されているので、一括された(情報量が多いならどこを見れば分かるか等を記述した)情報紙があれば便利だと思う。
- ・阪大生の具体的な生活スタイル。
- ・授業やサークル、バイトの実態等。
- ・履修登録のわかりやすい説明。
- ・各学部の昨年度の平均的新入生の時間割。
- ・クラスでの交流を増やす(小規模授業など)。
- ・WordやExcel、パワポなどの使い方を教えてもらいたいです。
- ・学部ごとの行事で、キャンパス間を移動しなければならないとき、詳しいアクセス。
- ・大阪大学にある部活やサークルをできるだけ多く紹介してほしいです。
- ・履修登録の説明部分をあと少し詳しくしてほしいです。
- ・部活だけでなく公認サークル一覧表のようなものがあれば助かる。
- ・一人暮らしをする人向けに、大阪大学近辺の駅情報。
- ・履修登録の仕方についての情報。
- ・入学式の前に新入生が上回生に直接不明な点を質問できる仕組みがあれば、履修登録の際に苦労せずにすむと思います。
- ・学生目線の情報をより多く知れる機会があればよいと思います。
- ・パソコン等の使い方。
- ・一般教養科目について、先輩が自分がとった科目についての面白かった点やためになった話などを新入生に聞かせる場をつくり、新入生が本当に興味のある授業を取りやすくさせるようにする。

- ・履修について先輩と相談する会。
- ・授業の様子の動画。
- ・KOAN からメールでその日の授業の教室と授業をアナウンスする。地図をもっとわかりやすくする。

3. 全学教育推進機構では、阪大生用にレポート作成の心構え、手順、形式、注意点などをまとめた簡便な手引きが欲しいとの学生の要望に答えて、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』を作成し、平成 26 年度の新入生に配布しました。① この冊子の有用度を 5 段階（5 が最高、1 が最低）で評価して下さい。また、② 冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点について自由に書いて下さい。

5: 10 人

- ・なかなか使いやすいので、もっと進化を続けてほしいです。
- ・1 次資料と 2 次資料のことについてはかなり参考になりました。
- ・レポートの課題に役立っています。

4: 13 人

- ・パソコンについての詳しい記述がほしい。アカデミックライティングは、環エネのレポートもそれに従って書かなくちゃいけないのかも、と思ったので、どのような規模のレポート対象なのかを書いて欲しかった。
- ・新入生が初めて書くであろうレポートについての基礎知識が書いてあったのでよかった。
- ・レポートの基本的な型について知ることができた。
- ・高校の時と勝手が違うことも多く、あのような形式で配布してもらえるのはありがたいと感じた。
- ・レポートを書くときに必要なことがわかった。
- ・改善させる点はよくわかりませんが、重宝しております。

3: 26 人

- ・集中授業で教えたほうが良いと思います。
- ・アカデミック・ライティングの具体例をより多く掲載していただきたい。
- ・個々の書き方については細かく述べられているが、アカデミック・ライティングの実践例として実際の模範レポートを 2、3 作提示していただけると、読む側も参考になり、より質の良いレポート製作を行えると思う。
- ・レポートとはどんなものか、概念的なことはわかった。
- ・実例が部分的にしかなく、実際のレポートの流れが理解しづらかった
- ・最後に、レポートまるまる 1 つ分実例を挙げてあると理解しやすいと思った。
- ・実際に零から書く際には非常に参考になると思います。ただ、高校での経験もある人は多いと思われるので、懇切丁寧な説明よりもより重点がわかりやすいようにした方がよいと思います。
- ・レポートを書くときに気をつけるべきことが書いてあったのが良かった。
- ・初歩がわかった
- ・役に立っていない
- ・レポートを書く機会はほとんどなかったもので、こういうサポートはありがたいです。また分量が少ないので、電車などで気軽に読めて良いと思います。ある講義では、試験で持ってくるようにとの指示もありました。
- ・内容は実践的でしたが、レポート・論文の書き方についての本を支給してもらおうほうがよかったです。

2: 11 人

- ・海外の大学のように、徹底して盗用防止の注意喚起をするべき。
- ・読んでいる人が少ない。
- ・理科系の作文技術などを課題図書にする方がより効果的だと思う。
- ・読んでない人が多いと思うので、まず「レポート」というものの存在についての説明を加えるべき。
- ・配るタイミングがわるいと思った。入学のシーズンに配ると、忙しくて読む余裕がなかった。実験のレポート課題が出たときぐらいに配ってもらえると、それを参考にレポートが書きやすくなるとおもう。
- ・見本レポートをやばりのせてほしい。(別に内容を丸パクリしようなんて気は全然なく、表紙をどうすべきとか見出しをどうすべきとか、そのくらいはのせてほしい。)

①: 4人

- ・冊子を一冊だけ与えて、ある程度の水準のレポートを要求するのは、虫が良すぎると思う。逆に、阪大としては、ここが学生の質を向上するために、力を入れるべきところなのではないだろうか。
- ・皆見ていない。

4. 大阪大学では、「学部学生による自主研究奨励事業」を通じて、学生の自由な発想にもとづく研究活動を資金や指導の面でサポートしています。学生が自主的な研究活動に取り組むうえで、他にどのようなサポートがあればよいか、あるいは どのような障害を取り除くべきか、自由に書いて下さい。

- ・学部の枠を越えた研究を奨励すると書かれていたので、他学部へ提出したところ、教務の方に「他学部の人でもだせるって書いてあった?」「仕方がないから今回は受け取るけど」「教授が選ぶから採択されるかは知らないけど、それでも出すの?」といわれました。半年間温めていたアイデアでしたし、先生とも時間をかけてつくった企画書を読みもせず粗雑に扱われたのはショックでした。
- ・単位に相当するようなものを与えるとかはどうでしょうか。
- ・新入生が研究を始めるには、知識がなさすぎます。
- ・大阪大学のほかの学生がどのような研究をしているか知る機会があるとよい。
- ・教授に協力をとりつけるところに躊躇をいだけてしまう。
- ・それについて知る機会がない。
- ・学部学生による自主研究奨励事業は、敷居が高く感じる。
- ・教官と交流しやすい環境。
- ・自主研究に興味があっても、現段階の阪大の授業スケジュール(特に理系)では、実施する時間的余裕が存在しない。
- ・1年生の間は専門の知識が少ないのでなかなか自主的な研究と言われてもできない場合が多いように思われますが、研究の一步前の興味を持っている分野の知識を増やす段階をより奨励することが必要だと思います。
- ・とても魅力的な制度ですが、実際が各学部で学部生の成果を競い合うようなものになっているのはとても残念でした。僕自身も、その話を聞いた友人たちも、研究活動そのものへの魅力は減ったといわざるを得ません。
- ・教授やアドバイスをいただける方との距離が近いと もっと自主的な研究もしやすいと思います
- ・研究を行う生徒に対して特別に単位を認定すればよいと思います。
- ・どんな研究にどれだけ金が下りたかの事例の紹介
- ・ないとは思いますが、1年生だから～、4年生だから～というようなバイアスがあってはならないと思う。加えて、

サークルや部活、授業とはまた別の、学年・学部を超越したコミュニティが、「気軽に」出入り可能だと、多分野を卓越する研究にとってはいいと思う。

- ・研究に使う教室を簡単な手続きで使用できればいいと思う。
- ・研究だけでなく、事業やベンチャー企業の打ち上げにも支援があると面白いと思います。研究だけだとどうしても幅をせばめてしまっているように感じます。
- ・外国語学部の教員ともっと普段からコンタクトをとりやすくして欲しい。再履バスを増やして欲しい。
- ・各界の専門の先生方を招いて、学生の分からない点や疑問点や悩み等の相談をしたり話をしたりできる場を提供すれば学生のモチベーションアップにもつながると思う。
- ・研究例の提示、すごい教授のアドバイスの機会をもうける。

5. 大阪大学では、平成 26 年度から一部の授業を録画し CLE (Collaboration and Learning Environment) を通じて受講生が授業後に視聴できるように準備中です。① こうした取り組みについての関心の度合いを 5 段階 (5 が最高、1 が最低) で示して下さい。また、② 実際にどのような授業の録画が望ましいか、授業の種類や内容について自由に書いて下さい。

⑤: 10人

- ・CLE で録画を見る方法がわかりません。他の人に聞いてもほとんど知る人がいません。
- ・一度聴くだけで分からない授業があるので、自由に視聴できればいいと思います。
- ・特に出席よりも講義内容に重きが置かれる専門科目の講義で取り入れていただくことが望ましいです。
- ・理解するのに難しい授業の録画が欲しい。(哲学基礎Aなど)
- ・私の受講している講義のうち、EchoSystem を導入しているのは一つだけでした。映像を記録すると書いてある部屋で行われるのに映像が公開されていない講義もあります。
- ・もしかしたら既に行われているかもしれませんが、録画を希望する教諭に録画部屋を回すようにしていただきたいです。あと、新任で授業速度を掴めていない方や、ノートを録る時間がない程スライドを多用する方にも利用を勧めていただきたいです。
- ・外国語の授業。

④: 18人

- ・サーバーの容量や通信量にもよりますが、可能な限り全ての授業を録画することが望ましいのではないのでしょうか。また、わざと使わない教員もいるようなので、そのあたりも考えるべきでしょう。
- ・動画の読み込みが遅い。視聴できる授業を増やして欲しい。
- ・自分は視聴したことはないが、時間短縮のために 1.5 倍速再生等の機能があればよいと思う。
- ・映像を使う授業の映像を視聴できれば便利である。
- ・やむを得ず欠席してしまった場合や一度で理解できなかった場合に非常に有用であると思う。
- ・もっと録画される授業を増やしてほしい
- ・専門分野の授業
- ・授業中にスクリーンを映した場合に明るすぎて見えなくなってしまうので改善してほしいです
- ・あまりうまく働いてない。すぐにアップされない。

③: 19

- ・外国語の履修には制限があるので、自分が登録していない外国語の授業の録画が望ましい
- ・外国語の Speaking,listening の授業。
- ・CLE が開けない時が多すぎる。
- ・数学、特に解析の授業は録画してほしい。
- ・面白いと思いますがしちょうしておりません。
- ・この取り組みをこの質問で初めて知りました。もう少しこの取り組みを知りやすいように計らって頂けたら良いと思います。
- ・僕の受けている授業では、視聴できるのがまだありません。音声での学習が有効な語学などで、録画を増やしてほしいです。
- ・するなら全ての授業でしてほしい。
- ・専門の授業。
- ・視聴したことがないのでわかりません。
- ・数学や物理など、教科書を読んだだけでは分かりにくい教科、生物などの教科書以上の詳しい説明を加える教科は録画が望ましいと思う。
- ・レポートが課されている授業については録画が望ましいと思います。
- ・未だ視聴を行ったことはないが、時折行われる、外部からの教授による単発の講演・授業・ゼミなどが流れていれば、見たいかもしれない。

2: 10

- ・Web サービスの schoo というサイトは、ネット配信で授業をうけれるサービスをとっているが、サービス内容は生徒参加型である。生徒がお互いに自由にコメントできるようになってあり、また、講師のコメントも入力できるようになっている。録画配信授業は参加形式ではないので授業形態としてはどうかと思う。録画形式が望ましい授業の種類としては大学環境論などではないだろうか？土曜日に一つの授業しかないが大学に行かなければならないのは地元が良い学生にとっては大きな負担となるからである。
- ・板書も録画して欲しいです。
- ・もう一度見たい！と思える授業じゃないので活用していない。

1: 7

- ・1回休むとついていくのに苦勞する、理系科目の録画が望ましいと思った。

Ⅲ. その他、要望・意見があれば自由に意見を書いて下さい

- ・交換留学の枠や、マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの枠を増やして欲しいです。特にマルチリンガル・エキスパート養成プログラムの定員は格段に増やして欲しいです。
- ・自分は空手をやっているのですが本学の空手道部は流派が違います。フルコンタクト空手道部はできないのかな～と思っています。
- ・山中先生の講演会するとき、生で拝聴できたホールの座席は、(講義で席が確保されていた学生のブロックを除く)、一般の方が優先されていました。
- ・本日の落とし物一覧をWeb上で見れるようにしてほしい。
- ・冷房の風が直接当たって寒い時がある。

- ・ 共通教育棟C棟の3~4階の階段が、足が引っ掛かる作りになっていて危険。
- ・ 食堂の席が少ないもっと増やしてほしい。
- ・ 理系のコマ数減らして欲しい。
- ・ 阪大キャンパスなんかは再履バスの時刻表と落とし物の問い合わせ先が役立った。
- ・ シラバスをもっと詳しく書いてほしいです。
- ・ シラバスをフリーワードで検索する機能がほしいです。
- ・ 履修の取り消しができることをもっと強調してほしいです。
- ・ 混雑中に図書館のラーニングコモンズなどで寝ている人を注意してほしい。
- ・ 課題をしたいときに埋まっていることが多いので、情報教育パソコンの設置台数を増やすか、外部からのアクセスを可能にしてほしい。
- ・ 図書館の冷房をつけてほしい。
- ・ 図書館の開館時間を長くしてほしい。
- ・ 食堂の混雑を解消してほしい。
- ・ 個人用のロッカーなどがほしい
- ・ A棟2階の教務課が機能しているのが、昼を除く授業中とまるっきりかぶるのは、不合理であると思う。せめて、昼の休み時間を2限か3限のどちらかにずらしてほしい。授業の関係で、相談や確認に行くことができないケースが出てきてしまう。
- ・ 一部の先生の字が汚すぎて読めない、ある程度の丁寧さを求めるべき。
- ・ 再履バスの本数が少なくて困っている人がいる。特に昼と4限終わりの乗車率が多いそうです。
- ・ 豊中、吹田ともに24時間勉強できる環境があればよい。
- ・ 図書館の冷房が弱いように思います。
- ・ スペ単がよくない。
- ・ 学食が美味しいがカロリーを下げたい。
- ・ トイレの荷物をひっかけると届かない。
- ・ Soraでカードを使用可にして欲しい。
- ・ 喫煙ルームからの煙の臭いが防げていない